

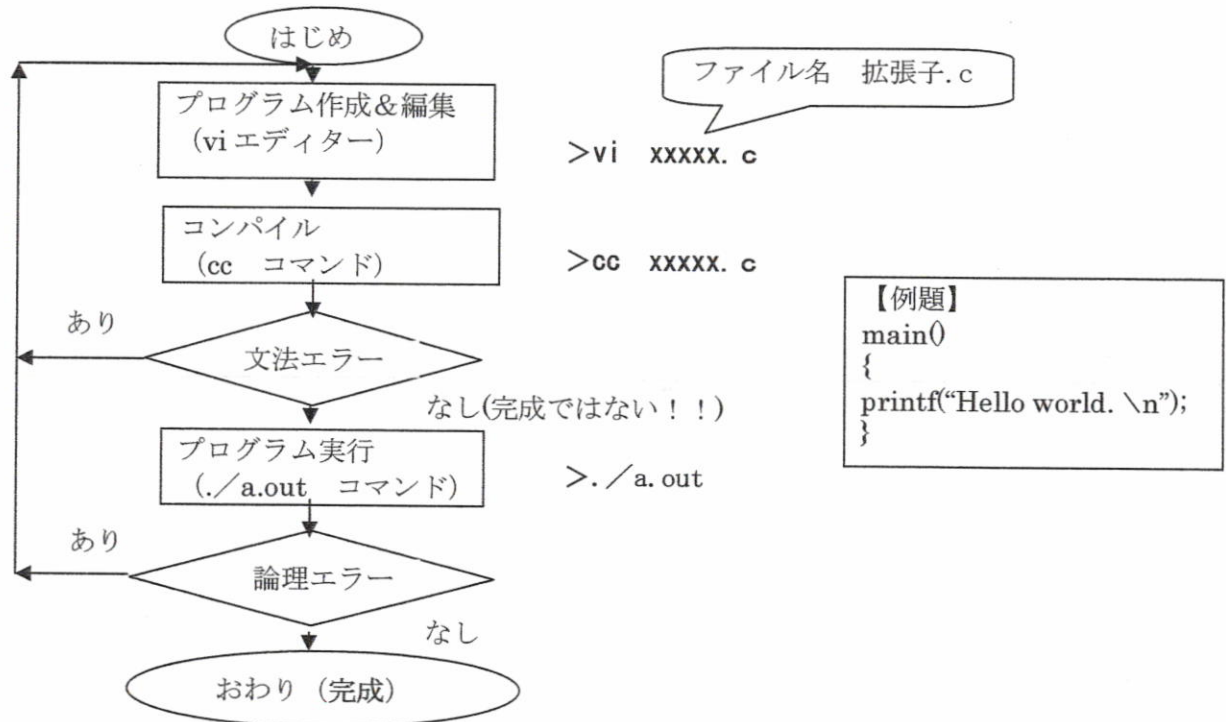
第6回演習の確認

- ・ファイルとディレクトリに関するコマンドについて学習した。
- ・実際にサブ・ディレクトリなどをつくり、cp, mv, rm, rmdirなどを練習した。

第7回演習の目標

- ・Cプログラムの作成方法・コンパイル方法・実行方法について学習する。
- ・Cプログラム作成・コンパイル・実行の仕事の流れを理解する。
- ・やさしいプログラム (hello.c) を作成・コンパイル・実行する。

Cプログラムの作成、コンパイル (文法チェック)、実行 までの流れ



1・とにかく作ってみよう。

- (1) Hello world. を1行印刷するプログラムをつくろう。(例題のプログラム)
- (2) Hello world. を10行印刷するプログラムをつくろう。(ファイル名: hello10.c)
- (3) 1行目に1を、2行目に2を・・・、10行目に10を印字するプログラムを考えよう。(hello10n.c)

出力例

```

1 Hello world.
2 Hello world.
3 Hello world.
4 Hello world.
5 Hello world.
6 Hello world.
7 Hello world.
8 Hello world.
9 Hello world.
10 Hello world.
    
```

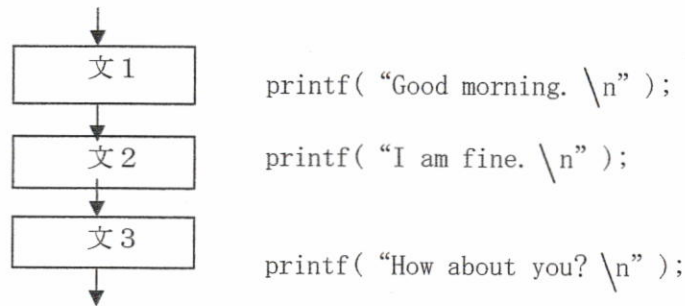
第7回演習の確認

- ・Cプログラム作成・コンパイル・実行の仕事の流れを学習した。
- ・やさしいCプログラム (hello.c) を作成・コンパイル・実行した。

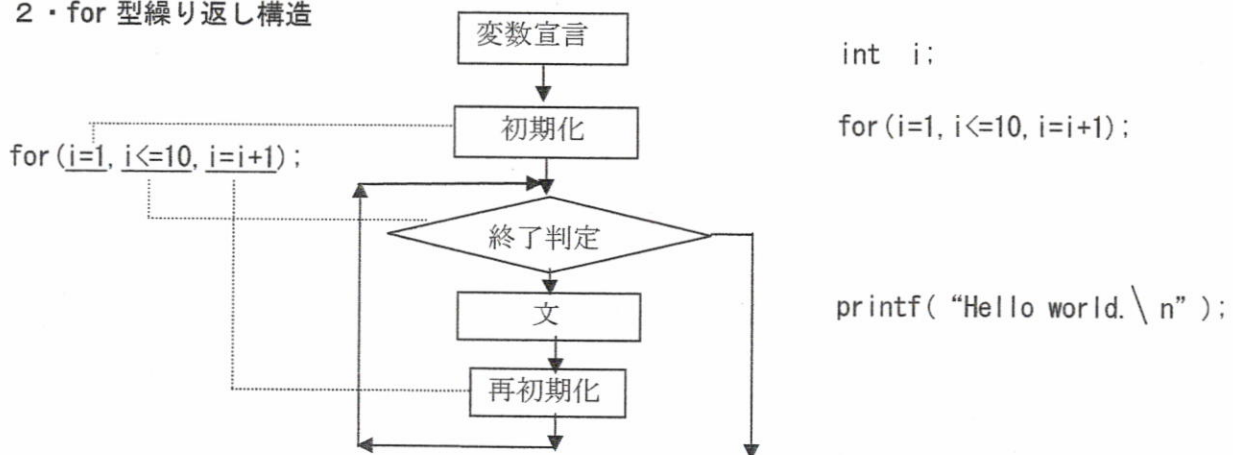
第8回演習の目標

- ・プログラムの基本構造を理解する。(単純構造、繰り返し構造、選択構造の3個)
- ・下記について学習する。
宣言、変数、算術式、for および if else、書式付き出力 (printf)

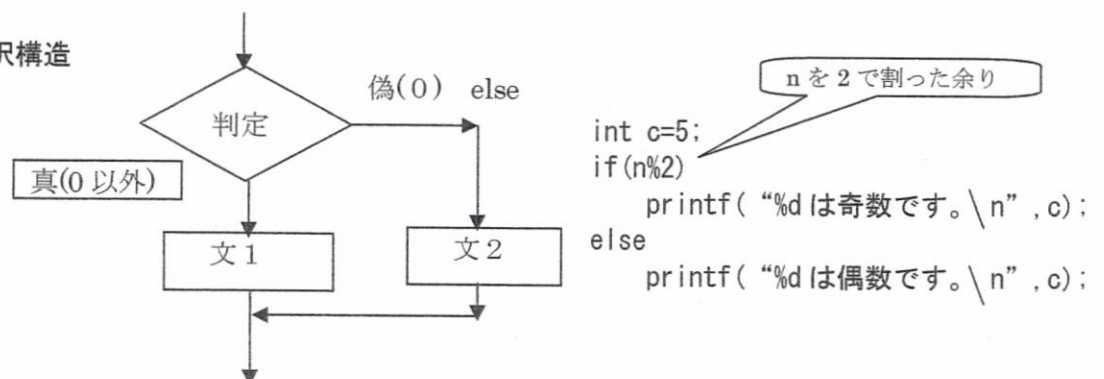
1・単純構造



2・for 型繰り返し構造



3・if else 型選択構造

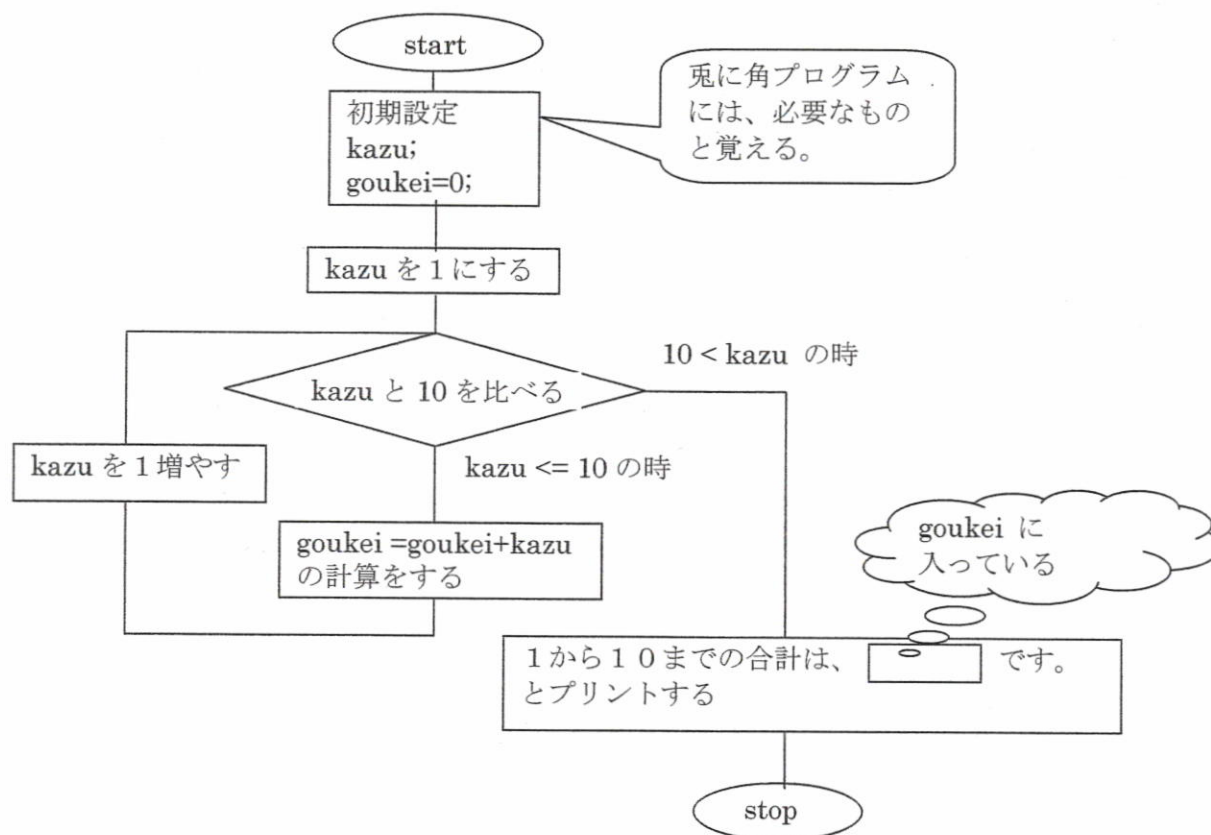


【演習】

(1) for 型繰り返し文の例題

1から10までの和を求め、“1から10までの合計は、`x x x x` です。”と表示しなさい。

① やりたいことを整理する (フローチャート)



② プログラム作成 (ファイル名: sum1-10.c)

(2) 1から1000までの和を求め、プリントしなさい。(sum1-1000.c)

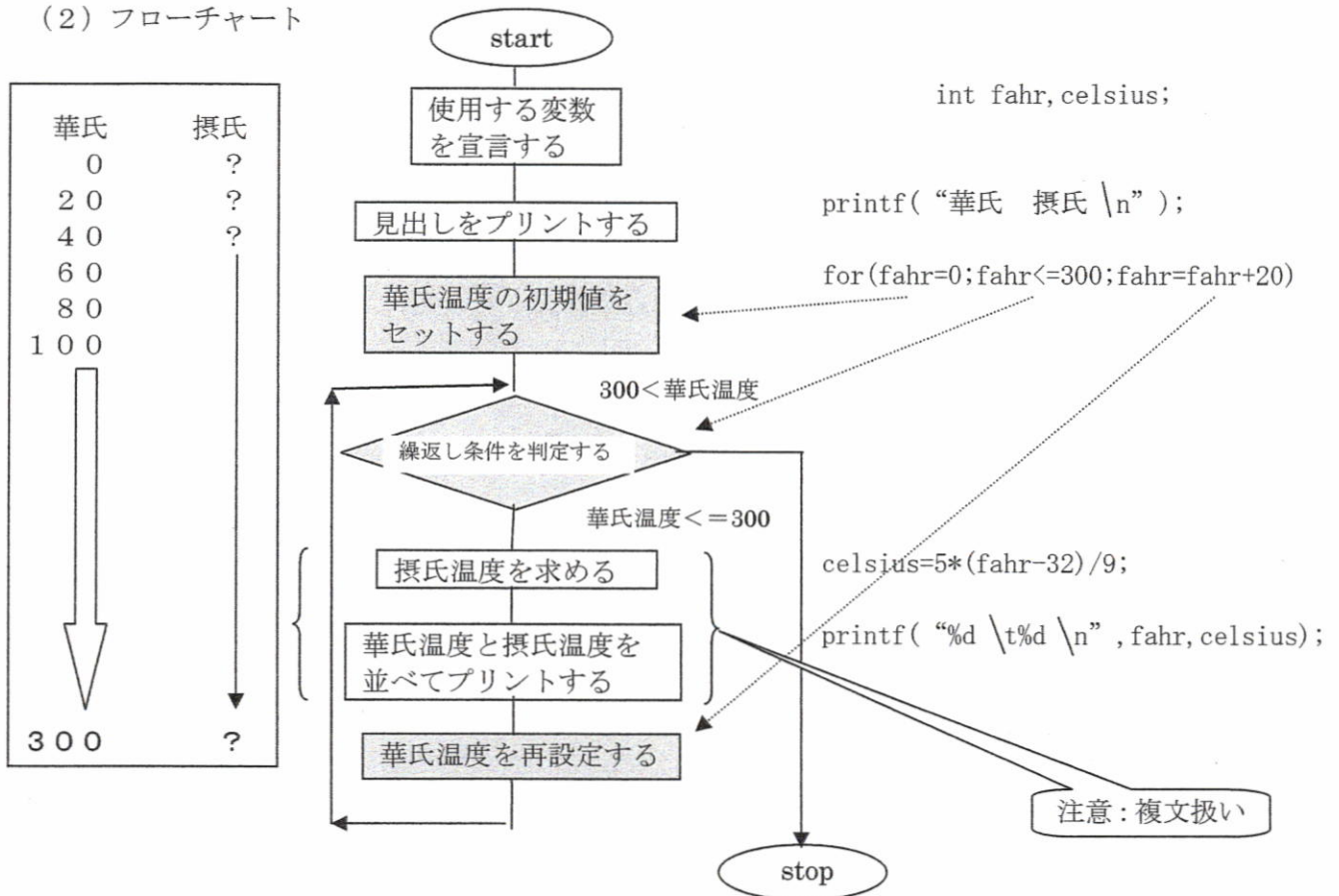
(3) 前回作成した `hello10.c` を for 型繰り返し文を使って作りなさい。

(4) “hello10n.c” “ ” “ ”

【温度変換プログラムの作成】

(1) 目的：華氏温度を摂氏温度に変換して一覧表を作成する。華氏温度は0度から300度までとし20度ごとに表示する。(ファイル名：ondo1.c)

(2) フローチャート



【演習】

摂氏温度を華氏温度に変換するプログラムを作ろう。摂氏の温度範囲は、-20度から100度とし温度幅は10度とする。フローチャートで整理してからプログラムを作成するとよい。(ファイル名：ondo2.c)

